

2023 年度

富士吉田市立第七保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月1日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子どもひとり一人の気持ちを受容し寄り添うこと、子どもの気持ちを汲み取る事の大切さを全職員が改めて学び、同じ方向を意識した保育園作りをしていくようにした。
子どもの発達援助	各クラスの子どもたちの姿について毎月情報共有する中で、互いに刺激し合い保育内容を検討する事が出来た。連続した保育を目指し、業務分担等を精査し、標準化を進めていきたい。
保護者に対する支援	保護者の気持ちに寄り添いながら、共に子育てしていこうという姿勢を大切にすることが出来た。また、保育参加を通し、園での姿を知らせたり、親子で楽しめる行事として取り組むことが出来た。
保育を支える組織的基盤	発達について理解を深めたり、今、子どもたちが何に興味があるか等、子どもの最善の利益についてのミーティングを定期的に行うことが出来た。それらを、保育士間で共有する中で更なる質の向上を目指していく。

総評
コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、保育参加の実施が再開され、各年齢の子どもたちにあった保育計画に基づき、全体で取り組むことが出来た。又、食育では新たな取り組みが行われ、保護者との帰りがけの会話や姿から、食に関心が持てている様子が見られた。次年度に向けては、年齢に合わせて主体的に遊びだせる適切な環境を整え、安全、安心な生活が送ることが出来るように保育の質の向上に努めていきたい。さらに、保護者と保護者間の交流なども視野に入れた行事を計画したり、地域の子育て支援に取り組んでいく事で、地域に根差した保育園を目指して行きたい。